

リアルタイムスポットラジオ「Street & Spot Radio (SSR)」の提案

政策・メディア研究科 修士課程 1 年

古田詩央莉

研究概要

本研究は街に合わせた音楽のプレイリストとスポットに応じたおしゃべりを組み合わせたメディアを提案する。複数種類の音楽プレイリストから聴きたい音楽と複数種類の番組からユーザーは状況に応じて聴きたい番組を選び、それを聴きながら街歩きを楽しむことができる。このメディアは Web アプリケーションで、地図上に音声コンテンツをマッピングできるシステムを利用している。ユーザーが利用する際は、スマートフォンのブラウザでページを開き、ユーザーの位置情報と音声マッピングした場所が一致すれば、自動的に音声再生される。

今期の研究

今期は特に、観光地での本システムの利用に関する研究を行った。観光地の地元の人が作った音楽と、観光地の地元の人が話す、その場所にまつわるお話をコンテンツとして利用し、実際に観光地での実験を行った。今期行ったことは主に 3 つである。

① システムの改良

研究室で利用されていたシステムは、本研究用に改良を行った。具体的には、音楽の再生機能が無かったため、音楽の再生機能を追加した。また、不必要である機能の削除を行った。改良後の画面を図 1 に示す。

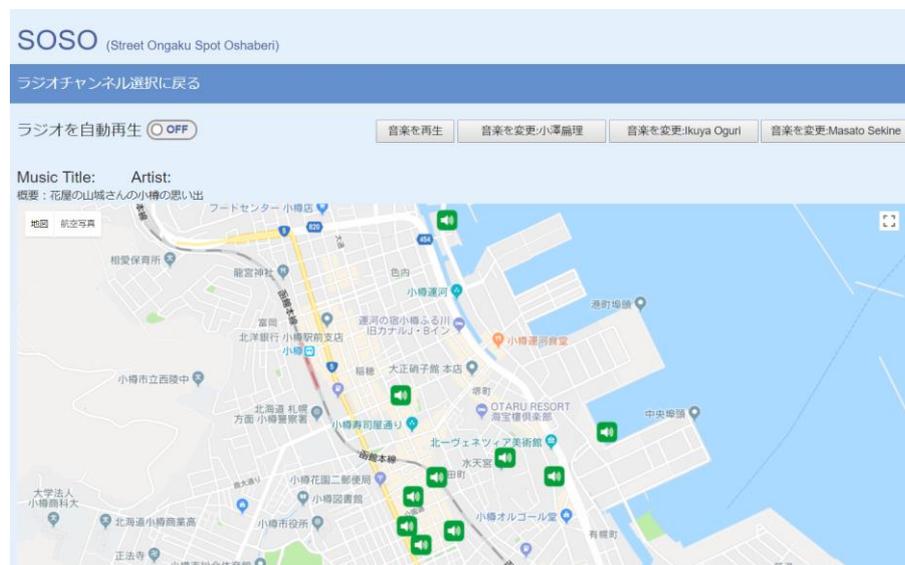


図 1：改良後の画面

② 江ノ島での小規模な実験

システムとコンテンツの改良点の抽出及びこの本システムで街歩きの楽しさを感じるかを調べるために観光地である江ノ島で小規模な実験を行った。実験の様子は図2に示す。

実験から、このシステムを利用するとユーザーは街歩きの楽しさを感じていること、場所性のあるコンテンツが有用であることが分かった。



図2：江ノ島での実験時の様子

③ 小樽雪あかりの路での一般公開、実験

北海道・小樽で毎年2月に行われている小樽雪あかりの路の開催に合わせ、AVCテクノロジー(株)とともに、小樽雪あかりラジオプロジェクトを行った。プロジェクトのホームページの画面は図3に示す。



小樽雪あかりラジオについて

「小樽雪あかりラジオ」とは、小樽の人が作曲した音楽を聴きながら、ガイドブックには載っていないような小樽の素敵な場所や自慢や普話を小樽の人の声で聴くことができるサービスです。音声は街の色々な所にマッピングされているので、小樽の街中を小樽の音楽を聴きながら歩いていると、所々で小樽の人の話が自動的に聞こえてきます。音楽とメッセージで、街歩きの新しい楽しみ方を提供します。

図3：プロジェクトのホームページの一部

この小樽雪あかりラジオを制作するにあたり、小樽観光協会、FM おたるにご協力頂き、小樽に暮らしている方、小樽で活動している方にインタビューを行った。このインタビュー音声をもとに、番組制作を行い、計 18 チャンネル公開した。チャンネル画面は図 4 に示す。



図 4：チャンネルページの一部

音楽については、小樽の作曲家の方 3 名にご協力頂き、3 つの音楽プレイリストを制作した。これらのコンテンツを利用し、小樽雪あかりの路開催（2018.2.9-18）に合わせて、このラジオを一般公開した。また、実際にラジオを聞きながら小樽の街を歩く、公開実験を行った。実験の様子は図 5 に示す。実験結果は現在集計中だが、地元に住んでいてもラジオを聴くまで知らなかったことがあった。もっと地元の人のおしゃべりを聞きたいというような声を多く頂いた。



図 5：小樽雪あかりの路での実験の様子

今後の展開

小樽雪あかりの路での実験結果をもとに、さらなるシステム及びコンテンツの改良を行う。また、今回はこちら側で全てコンテンツを準備したが、地元の人にも自分たちで行ってもらえるようにするためのワークショップ開催などを検討している。

对外発表

2017年7月 HCI2017 (カナダ・バンクーバー)

2017年12月 HCG シンポジウム (金沢) 【優秀インタラクティブ発表賞受賞】